

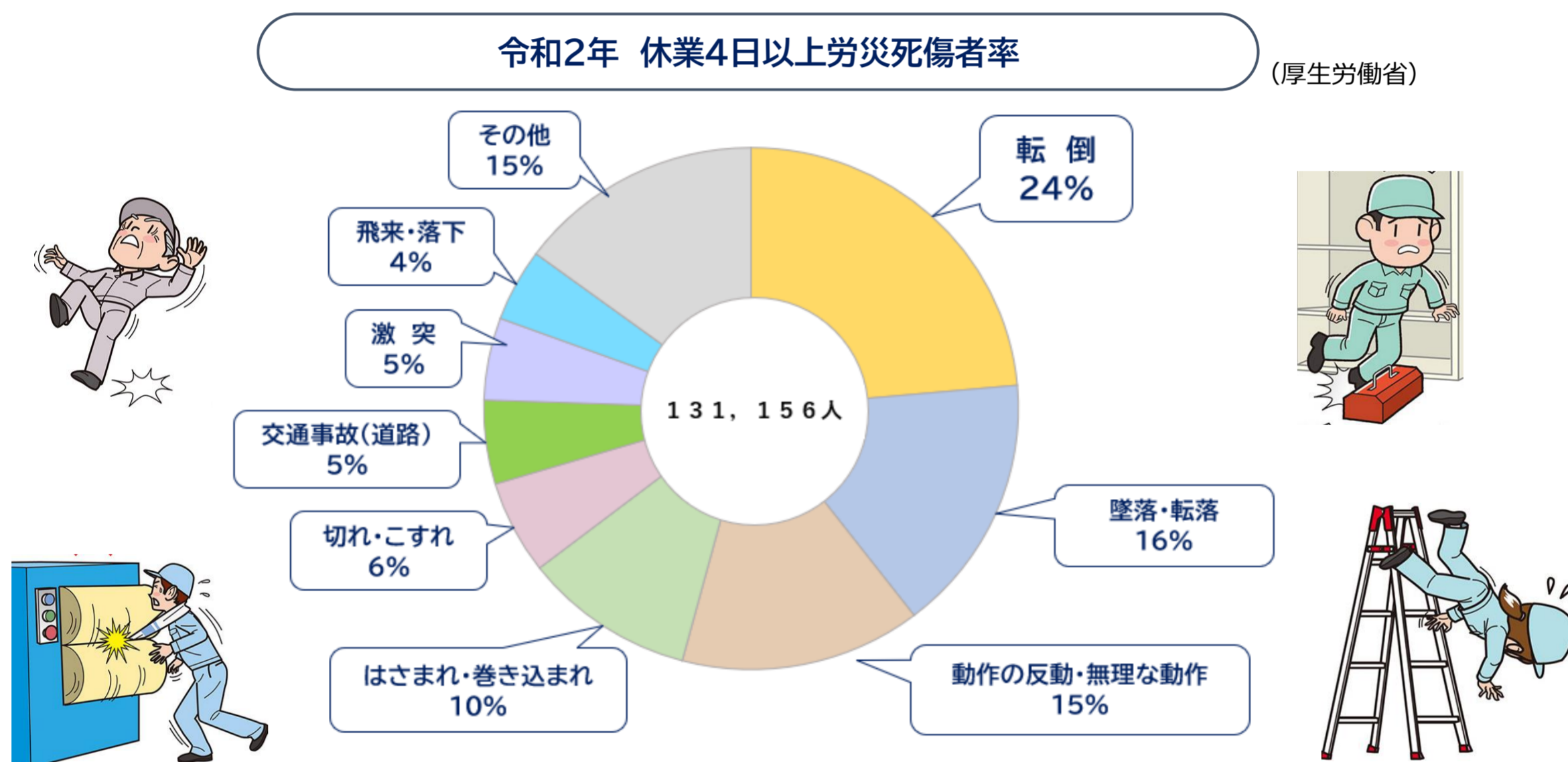
## 安全衛生だより第3号

### 1. 4月全国行事

- 1) 世界保健デー 4月7日
- 2) 春の全国交通安全運動 4月6日～15日

### 2. 安全・衛生・防災の心得 : 「転倒災害防止」8つのポイント

厚生労働省が発表した令和2年労働災害発生状況（休業4日以上）を見ると、「転倒災害」が全災害の24%を占めています（下図参照）。転倒災害の比率が高くなっている理由として、働く人の高齢化（50歳以上）が挙げられています。高齢労働者は身体の平衡機能や俊敏性、視認性が低下するため転倒しやすく、また、わずかにつまづいただけでも転倒して、重度の障害になることが指摘されています。今後、労働力人口の高齢化が一層進行すると見込まれていますので、事業場における転倒災害防止対策は極めて重要になってきます。転倒災害の典型的なパターンは「滑り」、「つまづき」、「踏み外し」の3つです。次のような転倒災害防止対策が必要です。



- ①作業通路等における段差や凹凸、突起物、継ぎ目等の解消。
- ②4S（整理・整頓・清掃・清潔）の徹底による床面等の水濡れ、油汚れのほか、通路等に放置された台車等の障害物の除去。
- ③照度の確保。手すりや滑り止めの設置。
- ④危険箇所の表示等、危険の「見える化」の推進。
- ⑤転倒災害防止のための安全な歩き方の実行。
- ⑥作業内容に適した防滑靴やプロテクター等の着用の推進。
- ⑦通路等の定期的な点検、巡視の実施。

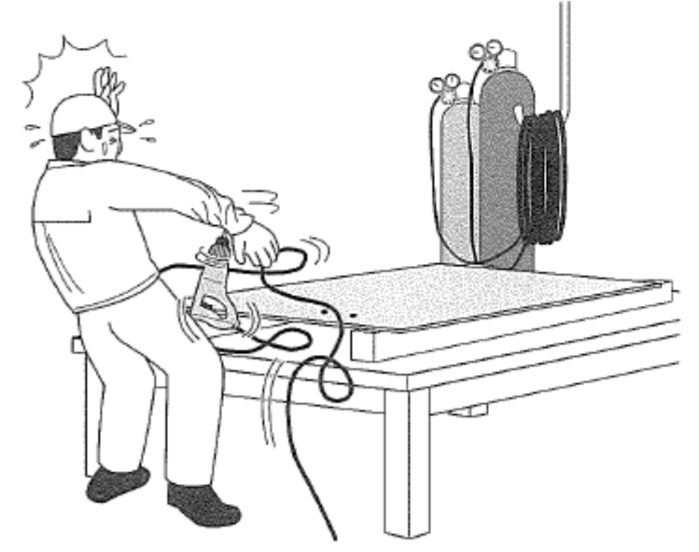
### 3. 他社 事故・災害事例から：作業衣のすそがドリルに巻きついて重傷

#### (1) 災害発生状況

職場の工作室で、作業員（男性20歳・経験1年）が、電気ドリルで鉄板（厚さ4mm）に穴あけ作業をしていたところ、作業衣の長袖のすそが、切削屑（キリコ）と一緒にドリルに巻き付き、手首ごと振り回されて右手首を切創、捻挫しました。

#### (2) 災害発生原因と補足事項

- ①長袖の作業服の、袖のボタンが外れていたため、キリコが巻き付きやすかったこと。
- ②作業始めは袖まくりをしていたが、ドリル作業中にまくりが弛んだこと。
- ③袖にキリコが巻き付いたときにパニックになり、ドリルの停止操作ができなかったこと。
- ④電動ドリル等による工作作業の教育や訓練を受けたことがなかったこと、など。



#### (3) 再発防止対策

類似災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要です。

- ①作業服は、ボタン取れや破れなどの不都合なところがあったら直ちに修繕等を行う。
- ②始業前ミーティング等の際、服装について着装状態をメンバー間で相互点検する。
- ③作業服装の管理基準を定めて、皆の服装が良い状態で揃うように管理する。
- ④特に現場工作室等での作業は、各自で勝手に行いがちなので、基本的な作業については安全基準や作業手順を定めて徹底を図る。
- ⑤工具類を取り扱う若年者に対しては、現場・現物で教育（OJT）を実施する、など。

- 環境安全部より：未然防止のために、作業場所におけるリスクアセスメント、KYT、ヒヤリハットの実施、治具等の再検討、作業手順書の改訂や教育の徹底等を実施されますようお願い致します。  
当社、構内作業安全基準書（改訂第2版）の中で、共通1-2・服装、保護具、共通1-4・安全衛生教育について記載しておりますのでご参照下さい。

### 4. 当社 良い事例（抜粋）

#### ● 関西工場

①操作盤による蒸気の一元取扱化



②リン酸タンクへのアプローチ階段の新設



### 5. ヒヤリハット事例

- 事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	作業中
どこで	工場内の階段
何をしている時に	階段を上っている時に後方から声がしたので振り向いた
どうなった	体のバランスを崩して転倒しそうになった